

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		家電量販店（店長）	販売量の動き	・春需要期終盤の今月も、移動マーケットが好調に推移している。前年比で2けたの伸びで終了の予定である。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・駅から直結するデッキの開通効果により、来客数は前年比20%以上増えている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・3か月前の売上も前年を上回っていたが、売上、来客数共に、前年を大きく上回り好調である。気温の変化が激しいので、衣料品が一番数字としては良くないが、それでもぎりぎり前年をクリアしている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・4月は気温が高く、夏日が多かったため人が動き、ソフトドリンクやサンドイッチ、お弁当、おにぎり等の販売が増えている。また、夜の酒類の動きも良い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前月は、来客数、売上共にマイナスの前年比98%くらいで推移していたが、今月は来客数が100%、売上もほぼ100%に達しており、前月より伸びている。土日のフリー客が前年を少し上回っている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・3か月前の1月前半は客の動きが良かったものの、後半に雪が降るなど客足が伸びなかった。今月は天候も良くなり、観光客など他県からの来客が多い。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・歓送迎会で動きがあり、気候も過ごしやすく、外出、外食に向いている時期であることも影響しているが、単価が上昇しており、一過性の動きではない感触はある。当店で半年ぶりの広告宣伝をしたが、前回以上の反応があり、やや上向きである。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・インターネット等を活用したイベントに対する反応は非常に早く、仕掛けに好感を持たれば、ストレートに業績につながっている。ただし、常に目新しさや、提供するレベルに対する価値感が求められるので、企画が重要である。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・経営する3ホテルとも今月の稼働率は80%超である。例年4月は年度初めの研修など団体需要があるので良い。若干良くなっているような傾向はある。
		都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・今月はインパウンドを中心に、個人客も含めて予想以上の実績で着地しそうである。今月だけで見ると、ここ10年間では最高の実績となる見込みである。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・学校、企業を中心に、歓送迎会の予約が順調に入ってきている。また、客室もベッドを全て新品に、テレビを大型の物に交換し、稼働率が88%台となっている。
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・前年と比べ、ゴールデンウィークや夏休みのパッケージツアー、宿泊プランで高額商材を購入する客が多い。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・現在進行中のデスティネーションキャンペーンの効果も現れて、順調に伸びてきている。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・年度が替わり、ヒト、モノ、カネの動きが出て、やや良くなっている。
		テーマパーク（職員）	販売量の動き	・3月下旬から好天に恵まれ、来園者数、飲食物販売の増加につながっている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・当ゴルフ場は天候に左右されやすいが、3月の春季オープン以降、好天に恵まれ来場者が前年を上回っている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・設備投資する企業も出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・前回の消費税増税の特需で問合せが多くなったのは増税の18か月前からだった。今回も予想どおり、問合せ件数が増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街イベントは天候に恵まれ、こんなに大勢の人がどこからきたのかというほど、多くの人出でにぎわい、各出店者の売上も良かった。ただし、イベント翌日には人影もまばらとなり、いつもの商店街に戻っている。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は高温の日が続き、特に、中旬には夏日の連続で体調維持が大変な状態であった。客は、ゴールデンウィークに向かって買い控えをして、5月に備えているのではないかと。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・店頭販売の来客数は、最低というほど少ない。全体的な売上は伸びているが、病院、施設、その他の納品等が中心である。	

	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・化粧品など、一部好調に推移している商品群もあるが、全般的に厳しい状況である。特に衣料品は初夏物の動きも鈍く、依然として不調である。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ここにきて食料品が良くない。特に、生鮮三品が振るわない。また、依然として婦人衣料品は良くない。店全体では、3か月前と変わらず不振が続いている。
	百貨店（店長）	来客数の動き	・新しく営業形態を変え、新サービスを実施しているが、客の認知度がまだ低い。
	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・価格訴求による単価下落がある上に、客の必要以上の購入を控える意識は依然として強い。なかなか買上個数が上がらず苦戦している状況は変わらない。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・当店の顧客は、高齢というより年金受給者がかなりの割合を占めている。天候にも相当左右されるが、年金支給月の今日は、それなりに人の流れは出てきている。ただし、これも大きな動きではなく、安定的な消費行動にはつながっていない。不透明な部分もあるので、3か月前と比べてもそれほど良くなっていない。
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・お金に余裕がないのか、客は無駄な物は買わない。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・この2～3か月、販売台数はほぼ横ばいか微増で、売上は微減である。そのため、利益もわずかながら下がっており、1台当たりの利益率は良くない。さらに、人手不足も問題である。今春、新卒採用の社員が入社したが、絶対数が不足しており、困っている。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・車の販売は今のところ好調である。修理部門もふだんと変わらずにやっているが、良くなる要素がないので、変わらない。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・例年と比べて、販売量がやや少なめである。近年、どこで販売量が多くなるのか余り読めない傾向にある。
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・寒暖の差が激しく、売れる物、売れない物の差が大きい。相殺されて結果は変わらない。
	その他専門店 [靴小売業] （経営者）	単価の動き	・全体の売上は変わらないが、単価というよりも婦人物の買上価格帯が変化してきている。
	その他小売 [ショッピングセンター] （統括）	来客数の動き	・来客数は伸びてきているものの、買上客数が回復していない。飲食、アミューズメントなどは堅調に推移しているが、競合店の増加などで、特にアパレルに影響が出ている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・本来なら今月は歓迎会の時期で、タクシーの需要が多いが、例年より歓迎会自体が少ないようで、余り忙しくない。ドライバー全体の話だが、暇なときは、早めに出ることにしている。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・相変わらず、販売量の増加はみられない。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・商品の値下げを行い、来客数増加にはつながったが、値下げ分の収益は見込めない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新築不動産は、販売物件数が停滞気味である。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、変わらずに推移している。
	美容室（経営者）	単価の動き	・売上の差をみると、悪い日は良い日の4分の1である。しかし、従業員の配置は良い日を基準に設定していかねばならず、人員は確保している。そのため、人件費が増えて利益は取れず、昇給もできない。景気の悪い状態が定着している。
	その他サービス [自動車整備業] （経営者）	販売量の動き	・車検入庫台数が長期にわたり減少している。また、必要な整備も検査合格範囲ならば後回しにする傾向が強くなってきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・土地の引き合いがちらほら増えてきている。相変わらず、価格はまだ低いが、値下がり少し止まってきている。貸事務所は全く引き合いがなく、空室が多い。店舗は、飲食店などの引き合いや成約も多少出てきている。
	一般小売店 [衣料] （経営者）	販売量の動き	・最近では気候も良く、好天が続いている。観光客も結構来ているが、なかなか売上は達成できない。
	一般小売店 [家電] （経営者）	お客様の様子	・時期的な要因もあるかもしれないが、動きは鈍い。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の進出により、やや悪くなっている。

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・3月の決算後は、反動で受注が減る。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前だが、この1~2か月の間にガソリンスタンド、ドライブイン、小さな民宿が閉鎖になったりと、周りの状況が余り良くないので、当店の来客数もかなり落ち込んでいる。この2~3か月はあまり良くない。
	その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・受注量が減少してきている。前年比でも減少している。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・例年利用している顧客の数、利用者数、開催頻度共に減少している。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・月初から動きが悪く、前年同月と比べて6%の減少である。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・来客数はさほど減っていないが、廉価商材以外の動きが悪い。
	美容室(経営者)	それ以外	・当店では、年度替わりにチラシを配布した効果で、固定客に加えて新規の客足が好調である。一方、近隣の遊技施設は遊技台の規制に伴って、存続の危機に陥っている。
	設計事務所(所長)	販売量の動き	・設計料の振込が、各社遅れているのはやや悪いとみている。
	x	*	*
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の本業であるスプレー缶、ガス缶の処理装置、フロンガス回収機の受注予測が、夏から年内にかけて、一段と上向きになってきている。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今年に入って売上が乱高下している。しかし、来月あたりから、多少、受注が増えてくるので、年末まではかなり上っていくのではないかと。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・この2~3か月、受注量、取引先の様子はやや良い状況で余り変わらない。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの北米輸出が、前年同月比で伸びている。
	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・変化がない。
	一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・増加する短納期受注をこなすため、協力工場への発注量を増やしているが、協力工場も能力一杯で、納期対応できない。新規協力工場の開拓も鋭意進めているが、力のある工場で余力のある協力先を見つけるのは困難である。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前月同様に推移している。
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・物的には前年並みだが、前年から、国土交通省のドライバー不足改善のための運賃や附帯作業のルール変更の奨励などがあり、運賃上昇、ドライバーの作業負担などは良い方向に向かっている。しかし、全体的なドライバー不足はいまだに改善されていない。
	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・管理受託先の要請で受託金額が引き下げられた物件がある。当社でも業務を見直して人員を減らすなど利益への影響を最小限にしている。また、人手不足で募集しても人員が集まらないため、現状の人員でうまくやりくりできた結果、人件費が減ったため、全体としては横ばいである。
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・例年の傾向であるが、販促の強化時期でもなく、必要に応じた営業ツールなどの発注がほとんどである。イベントの告知やキャンペーンなど、スポット的な発注は少ない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・変わらないと答えたが、少しは良くなっている。やや良くなっているというほどではない。
	社会保険労務士	取引先の様子	・輸出企業は調子が良いようだが、消費者相手の中小企業は苦戦している。
	その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に、特段の変化はみられない。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前は好調であった消耗品関連部門の受注、出荷量の落ち込みが大きくなり、順調な部門を加味してもやや悪くなっている。

	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・今月の売上は3か月前の75%止まりである。ただ し、7月からは元に戻る見込みである。
	建設業(開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事が売上の95%を占めている。前政権時は公 共工事は苦戦を強いられたが、現政権誕生後は順調に 推移している。公共工事は今期前年比91%の発注と現 状は厳しい。これも現政権の一連の問題が影響してい るように感じ、一強政治の結果であるのかと心配して いる。当社も受注が前年の90%と、今期決算が心配で ある。
	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・年度初めで閑散期ではあるにしても、工事が少な い。
	不動産業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・受注単価からは利益が出にくい。
	x	-	-
雇用 関連	-	-	-
(北関東)	人材派遣会社 (支社長)	求職者数の動き	・採用意欲は強く、引き合いも多い。営業せずとも問 合せが途切れない。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・電機、機械、自動車等の製造業の募集はかなり少な かったようである。依然として小売、サービスでも特 に、飲食に関わる販売、製造スタッフの募集は多く、 募集企業数も多かったようである。建築関係は、前年 度からの公共事業関連や住宅の増改築、新築等が目立 つ一方で、看護、介護職は依然としてかなり集まりが 悪いようである。
	人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・自動車関連企業の派遣先は、変わらず忙しい状況で ある。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人の動きは前年同月と比べて、申込件数は変わら ないものの、求人数は10%、求職者数も12%と共に減 少している。
	学校[専門学 校](副校長)	求人数の動き	・大卒等の一般求人は、例年以上に順調で、求人者、 企業共に増えているものの、間接的業務の求人は、や はり伸びてこない。特に事務系職種は難しい。
	*	*	*
	x	-	-